



ウフフ、ヒックリ、ワイー…子どもたちの声が画面から聞こえてきそうです。おさんぽ中に虫がでてきて…楽しいお話が始まりました。豊かな表情がすてきな作品です。

『むしたちのあいさつ』

札幌市 北野平小学校 1年生 木嶋 美結さん



動くトラクターが画面いっぱいに力強くかかれています。大きなタイヤや運転台もていねいに美しく表現されています。

『えだ豆畑を走るトラクター』

岩見沢市 東小学校 3年生 中野 夏花さん



日那汰さんと同じくらい大きな大きな魚。びっくりしている表情と、まだまだ元気にはねている魚、二つがバランス良く表現されています。

『おお、つれた!』

帯広市 緑丘小学校 2年生 内堀日那汰さん



がっしりとした木の幹、ていねいに描いた1枚1枚の葉、その向こうから明るい陽光がもれてきそうです。気の色あいの葉の表現に工夫のある作品に仕上がっています。

『木の絵』

苫小牧市 拓勇小学校 4年生 浅田 涼葉さん



今年もたくさんとれたと満足そうなコンブ漁師はお父さんでしょうか。中央でがっしりとつかむコンブに、魚を応援する気持ちが伝わってくる作品です。

『今年もたくさんとれたぞ』

根室市 共和小学校 5年生 四十物陽太さん



昭和時代の歴史をきざんできたがっちりした建物をしっかりと忠実に描き込んだ力作です。

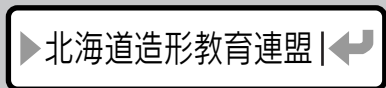
『昭和時代のシンボル』

小樽市 潮見台小学校 6年生 丸山 輝星さん

第39回教育美術展奨励賞作品より

<http://hokuzou.kir.jp/> で他100点の作品もご覧いただけます

検 索



家の近くの公園の風景を大きな筆使いで、生き生きと表現しています。木々の色の変化が画面に奥行きを感じさせます。大胆なタッチに作者の自然に対する気持ちが伝わってきます。

『東光公園』

旭川市 東陽中学校 2年生 畠山 莉緒さん

<目次>

・第39回教育美術展奨励賞作品	1〈表紙〉
・北海道造形教育連盟会長挨拶	2
・今年度の研究について	3
・第63回全道造形教育研究大会 石狩大会	4~5
・ネットワーク部会の取組から	6
・活動報告(函館市美術教育研究会・小樽市教育研究会小学校図画工作部会)...	7
・第40回教育美術展応募要項について	8



北海道  
造形教育  
連盟報

No.136 2013.7.1発行  
発行 北海道造形教育連盟  
会長 稲實 順 (札幌市立旭小学校長)  
事務局長 安木 尚博 (札幌市立札幌小学校長)  
事務局 札幌市立札幌小学校  
〒007-0861  
札幌市東区伏古1条2丁目1-31  
TEL(011)781-5258・FAX(011)783-8022



# 5カ年研究のまとめと新たな創造へ

北海道造形教育連盟  
会長 稲 實 順  
(札幌市立旭小学校長)

## ■63年の歴史を刻む

北海道造形教育連盟は、昭和26年11月24日に北海道図画工作連盟として設立されました。私たちは、子ども一人一人が自らの表現に自信をもち、安心して活動を楽しむ造形教育を求めて研究を積み上げてきました。今年度で63年の歴史を刻む当連盟は、子どもたちと共に歩んだ創造の道でもあります。4月27日(土)には委員総会を開催し、前年度の成果を確かめつつ、新しい体制で今年度の方針を推進していくことを確認いたしました。さらなる未来を見据えた組織の強化と研究や研修の充実を目指していきたいと考えます。

## ■5カ年研究のゴールを目指して

2009年の上川・旭川大会を皮切りに5カ年計画で研究の襷をリレーし、いよいよ今年の石狩大会でゴールを迎えることになりました。それぞれの大会を振り返って言うことは、北海道造形教育連盟が目指す理念(授業で勝負)を運営や授業の中で具体的な形として示すことができたということです。さらに、各地区が今まで積み上げてきた実績を生かしながら、どうすれば参加して下さった先生方が満足し、たくさんのお土産をもって帰っていただけるのか、また、授業をする先生方や子どもたちが主役になる研究大会とはどのような形にしたらよいのかということを見現化してきたということです。また、3年目の全国大会においては、チーム北海道の一員として、各地区サークルの先生方が研究のテーマや視点等に数々のご意見や方向性を指し示していただいたことも大なる成果ではなかったかと思えます。まさしく「語り合う・学び合う大会」の成果が道内へ、そして全国へと発信されたものと思えます。

私たちはあくまでも教育研究団体です。授業で勝負し、その価値を広げていくことが本務です。この形がゴールの石狩大会へ、そして新しい研究主題のもと、次の旭川大会へとつながることを期待します。

## ■帯広・十勝からへ石狩大会へ

昨年の第62回全道造形教育研究大会は、晴天に恵まれた暑い暑い夏の日でした。帯広市教育研究協議会図工美術部会並びに十勝造形サークルの先生方には、大会に向けての研究推進や運営、連絡調整を綿密に行っていただいたことで、子どもを主役に置いた“あったかな”大会となりました。また、帯広・十勝の先生方の意気込みを強く感じた大会でもありました。

その帯広の地で、道内各地の先生方が『つくるとき・つながるとき』の大会テーマのもと、「豊かな心をはぐくむ造形教育」の重要性を語り合い、学び合い、その成果をそれぞれの地で発信することができたのではないのでしょうか。

大会参加者からは、「これからの子どもたちの心に“きれい”や“たのしい”が残る造形活動となるような学習をしていきたいと思えます」「どの授業も準備がきめ細かく、子どもたちが一生懸命取り組む姿が見られました」「互いのよさに気付いたり、よさを認め合ったりする活動は、まさに学級経営の根幹であり、造形活動からアプローチできることやその可能性を再確認することができた」など多くの声が寄せられ、大会成功の鍵となりました。

さて、今年は「第63回全道造形教育研究大会・石狩大会」が道央の石狩市立緑苑台小学校で開催されます。本大会の研究主題『豊かな心と確かな力を育む造形学習』は、子どもにつけたい力は何なのかを教師がしっかりもちながら、子どもの「こうしたい!」があふれる授業を目指していきたいという思いが込められていると伺っております。

この大会に参加して、私たちは改めて造形美術教育の価値を再発見することだろうと思えます。昨年に引き続き、大会で得られた成果や発見を広げながら、造形美術教育の価値が社会に広がっていくことを心から願っております。

### 北海道造形教育連盟役員(部長会構成スタッフ)

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| ○会長 稲 實 順 (札幌市立旭小学校長)    | ○事務局次長(研究) 川島 正夫 (札幌市立手稲北小学校) |
| ○副会長 島田 茂 (石狩市立緑苑台小学校長)  | ○事務局次長(研究) 湯浅 大吾 (札幌市立拓北小学校)  |
| ○副会長 佐藤 之憲 (旭川市立東栄小学校長)  | ○事務局次長(研究) 館内 徹 (札幌市立あやめ野中学校) |
| ○副会長 土谷 敬 (函館市立湯川小学校長)   | ○事務局次長(事業) 福島由紀子 (札幌市立円山小学校)  |
| ○副会長 奥田 泰朗 (釧路市立朝陽小学校長)  | ○研究部長 堀口 基一 (札幌市立緑丘小学校)       |
| ○副会長 岡澤 邦彦 (札幌市立西岡中学校長)  | ○庶務部長 吉伊 宏子 (札幌市立幌西小学校)       |
| ○監査 山口 浩 (千歳市立泉沢小学校教頭)   | ○広報部長 櫻田 悟 (札幌市立盤溪小学校)        |
| ○監査 森 洋 (旭川市立啓北中学校)      | ○事業活動部長 八田 博之 (札幌市立中央小学校)     |
| ○事務局長 安木 尚博 (札幌市立札幌小学校長) | ○事業研修部長 石川 早苗 (札幌市立八軒東中学校)    |
| ○会計 三井 哲 (札幌市立平岡中央小学校長)  | ○ネットワーク 小林 知広 (札幌市立手稲山小中学校)   |



# SPIRITS OF “TEAM 北海道”

(スピリッツ オブ チーム 北海道)

北海道造形教育連盟

研究部長 堀 口 基 一

(札幌市立緑丘小学校)

## 石狩から広がる造形の力

今年は少しゆっくり訪れた北海道の夏でしたが、夏真っ盛りの7月29日(月)・30日(火)の両日、第63回全道造形教育研究大会が石狩の地で開催されます。今年も全道大会に集う造形教育に関心を寄せる多くの方々と出会い、語り、親交を深めるひときは、熱い情熱と温かなまなざし、そして造形教育に共に携わる心地よさに包まれることと思います。

今年は、『図工・美術の基本を学べる研究会にします』『「授業どうする？」に答えよう』というキャッチフレーズのもと、授業づくりについてのたくさんのヒントを学び合う大会になります。いつも授業中心、子ども中心、そして教師を元気にする研究を積み重ねて来られた“チーム石狩の造形”が私たちに豊かなひとときを提案してくれることでしょう。

7月末の熱い2日間、どうぞ奮って石狩市、緑苑台小学校へお運びいただけると嬉しいです。

## 帯広・十勝大会から

さて、昨年の全道造形教育研究大会、帯広・十勝大会では自然豊かな帯広の地で温かな雰囲気での授業公開や熱心な研究討議、ワールドカフェ方式による話し合いなどが行われました。大会テーマ「つくるとき・つながるとき」のもと、個の学びと集団の学びをじっくり見つめることができました。また、大会研究主題「豊かな心をはぐくむ造形教育」から、表現や鑑賞の活動を通して人間形成を目指す造形教育の力やその大切さをしっかり深めることができました。

大会の成果を帯広・十勝の研究総括から見つめてみますと、以下のような視点が見えてきます。

- ・ 題材は子どもの「今(生活・心)」に寄り添い、それらを大切に設定すること 【教材化の視点】
- ・ 子どもの思いが材料や技法に結びつき、形や色で実現していく過程にある対話や悩みの中に大切な学びがあること 【プロセスや対話の視点】
- ・ 一人ではたどり着けないところもみんなで少しずつ確かめ合いながら、認め合いながらたどり着くことができる。 【学び合いの視点】

これらの視点は、今年の石狩大会にもしっかりと繋がり、

検証されていくことでしょう。石狩大会では、「豊かな心と確かな力を育む造形教育」という大会主題に～子どもの「こうしたい！」があふれる授業を通して～という副主題が設定されています。

- ・ 育みたい力の明確化
- ・ 価値ある題材の用意
- ・ 意欲の喚起と「こうしたい！」の高まり
- ・ 子どもの思い、学びの受信
- ・ 積み上げ、繰り返しの育み
- ・ 教育課程、環境の充実

これらの石狩大会におけるキーワードが図工・美術の基本であると同時に、前年度の帯広・十勝大会から引き継がれるチーム北海道の魂【スピリッツ】であると強く感じます。

## “わたしを創る”大会に…

今年度は、同一研究主題での継続研究、5年目の年となります。

【研究主題】“わたし”を創る

～自立と共生の造形教育をめざして～

この研究主題の「わたしを創る」には、自己実現を目指した造形活動の基本であり目標である姿が込められています。

子どもたちにとっては、形や色を創り出し、イメージを豊かに生み出すことが作品づくりにとどまらず、まるで自分自身を見つめ、作りあげていく営みとしての「わたし創り」を示します。

また、全道大会に集い、造形教育の素敵な営みを感じ、捉えなおす私たちにとっては、造形教育者としてのスキルアップと人としてのマインドアップにおける「わたし創り」を示すでしょう。

この石狩大会が日々の授業と子ども力、教師の温かなまなざしを今一度確かめ合う場として、是非学び多いひとときとなって欲しいと願っています。

## 「今でしょ！石狩大会！」

最後になってしまいましたが、これまでの大会に向けての準備、本当にお疲れさまでした。ご苦労もたくさんあったことと思います。この大会を通じて「わたしをつくり、つながり、豊かな心と確かな力を育む」ことができるよう、造形教育の「今」を大切にさらに学んでいきたいと思っております。

# 第63回全道造形教育研究大会 石狩大会 開催要項

- 1. 趣 旨** 表現と鑑賞の活動を通し、感性を働かせながら創り出す喜びを味わわせ、造形活動の基礎と豊かな情操を養うとともに、造形教育の振興を図る。
- 2. 主 催** 北海道造形教育連盟
- 3. 主 管** 石狩造形教育連盟
- 4. 共 催** 石狩管内教育研究会図工・美術部会
- 5. 後 援** 北海道教育委員会 石狩管内教育長部会 石狩市教育委員会  
石狩教育研修センター 石狩管内教育研究会 石狩管内小中学校長会
- 6. 開 催 地** 石狩市（道央ブロック）

**7. 開 催 日** 平成25年7月29日（月）30日（火）

**8. 会 場** 大 会 会 場 石狩市立緑苑台小学校  
レセプション会場 ホテルライフオート札幌

**9. 参 加 費** 大 会 参 加 費 3,000円（昼食・飲み物500円別途）  
レセプション会費 4,500円

**10. 大会主題** 豊かな心と確かな力を育む造形教育  
～子どもの「こうしたい！」があふれる授業を通して～

## 11. 日 程

### 【第1日目】

8:30	9:00	10:15	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	18:30	20:30
受付	開会式 研究説明	授業公開 (階段式)	研究協議	昼 食	実践発表①	実践発表②	講演①			レセプション

### 【第2日目】

9:00	9:50	10:40	11:40	12:00
ワークショップ①	ワークショップ②	講演②	閉会式	

- 12. 全体会** **開 会 式** (1) 主催者挨拶 ～北海道造形教育連盟会長  
(2) 来賓挨拶 ～石狩教育局長・石狩市教育委員会教育長
- 研究説明** (1) 北海道造形教育連盟研究部長  
(2) 石狩造形教育連盟研究部長

### 13. 授業公開

小 学 校		中 学 校	
1年	小笠原晴美（緑苑台小学校）	1年	渡邊 麻子（江別第一中学校）
3年	堀田 裕也（緑苑台小学校）	1年	佐藤 哲（当別中学校）
4年	高木 亮一（花川南小学校）	幼 稚 園	
5年	千葉 道子（緑苑台小学校）	年中	木下明日香（札幌篠路光真幼稚園）
6年	金住ゆかり（東野幌小学校）	年長	畠山 礼子（札幌篠路光真幼稚園）

### 14. 実践発表者

幼稚園	前園和寿・望月あかり（北広島）大地太陽幼稚園	中学校	小出 倫生（石狩）大曲中
幼稚園	高松 摩衣（札幌）ひまわり幼稚園	中学校	宮内 絹代（石狩）野幌中
小学校	竹田 睦生（石狩）千歳高台小	中学校	木村 伸仁（函館）銭亀沢中
小学校	橋本 岳大（石狩）千歳高台小	中学校	庄子 展弘（旭川）北星中
小学校	佐藤 和音（札幌）星置東小	中学校	更科 結希（釧路）付属中
小学校	矢野 宜利（札幌）百合が原小	中学校	田中真二郎（秋田）西仙北中
小学校	山形 弘枝（函館）北日吉小	小中高	黒木 健（秋田）秋田大
		中学校	高安 弘大（青森）小湊中

### 15. 助言者

泉 大吾（教育庁学校教育局義務教育課）	西岡 裕英（北海道教育研究所）
中澤 孝仁（教育庁釧路教育局）	井上 哲義（江別市立江別第二中学校）
中島 健朗（道立情報処理教育センター）	阿部 宏行（北海道教育大学岩見沢校）
千葉 繁（石狩市立花川南中学校）	花輪 大輔（北海道教育大学札幌校）
高橋 秀明（北広島市西の里中学校教頭）	名達 英詔（北海道教育大学旭川校）
山田 浩人（千歳市立千歳第二小学校校長）	佐々木 宰（北海道教育大学釧路校）

### 16. 講 演

- (1) 1日目 上野行一（帝京科学大学教授：美術による学び研究会代表）  
 (2) 2日目 大橋 功（岡山大学教授：実践美術教育学会代表）

### 17. ワークショップ

- ①対話による鑑賞の展開
- ②子どもの絵の見方
- ③ICTを活用した授業とその工夫
- ④水彩による造形遊び的活動から主題への結びつき
- ⑤アートゲームカードによる鑑賞授業
- ⑥粘土で平面から立体へ見方を変える言葉かけ、仕掛けの工夫
- ⑦作品票やワークシートで子どもの思いを受け止める
- ⑧美術部顧問連携協議会
- ⑨その他 \* 「テレジンの小さな画家たち」展（複製画）

◎実践DVD ver2  
1,000円で販売予定

詳しくは、Webで  
検索「石狩造形教育連盟」



# 全道をつなぐネットワーク

## ～NETを活用した情報発信と「ひと」が集う情報交流～

北海道造形教育連盟

ネットワーク部長 **小林 知 広**  
(札幌市立手稲山小小学校)

ネットワーク部の役割は、総会でもお知らせしましたが、「全道の各地区サークル、造形教育の諸団体、美術館等の関係機関との連携を密にし、交流を深めること」です。そこで、ホームページ (HP) やメーリングリスト (ML) を使った情報発信、春と冬の年に2回のネットワーク研修会や全道大会の中で掲示されるパネルなどの情報交流を中心に活動を推進しています。

### ①HPを活用し各地区サークルの情報発信

NETを活用した情報発信では、各地区での活動をHPに掲載し紹介しています。また、地区サークルで



HPの画像 (<http://hokuzou.kir.jp/>)

HPを活用している、9地区サークルとリンクを結びお互いの最新情報をお伝えしています。この他にHPでは、各地区サークルで発刊された作品集や研究収録・実践集、そして、北海道教育美術展の奨励賞作品を見ることもできます。是非、一度覗いていただきたいと思います。みなさんと、ネットワークの輪を広げていきたいと考えています。

### ②ML・Blogを通してタイムリーな情報を

各地区サークルの新情報や研究主題など広く意見を集めるために、MLを活用しています。ここ数年、全道大会の推進状況をBlogで発信しています。最新

情報が配信されたことを、MLでお伝えすることでより、タイムリーな情報をたくさんみなさんに提供できるようになってきました。

### ML登録者募集中です！！

北海道造形教育連盟のメーリングリストの登録を希望される方は、  
[hokuzou.post@kagoya.net](mailto:hokuzou.post@kagoya.net) から、お名前を所属地区サークルをお知らせください。

### ③「ひと」が集う情報交流

4月の委員総会の前と12月の教育美術展の年2回、各地区のネットワーク担当者が集まり、各地区の実践や作品展、各種研究会の様子を交流する、ネットワーク研修会を開催しています。また、全道大会の際には各地区の活動をまとめたパネルを展示しています。パネルの前には人が集まり、各地区での活動の様子が交流されています。「ひと」が集い語り合うことでの情報交流が、ネットワークの大きな力になっています。



熱く語る、ネットワーク研修会



パネルの前で情報交流

# 函館市美術教育研究会活動紹介

函館市立銭亀沢中学校 木村 伸仁

函館市美術教育研究会では、2015年7月に道南で開催予定の全道造形教育研究大会に向けて、渡島美術教育研究会とガッチリとタッグを組み準備を進めています。研究主題についても意見交流をしながら最終決定の段階に入ったところです。意見交流では「こんな授業をやりたい!」とか「こんな導入にすると子どもたちが喜ぶぞ!」など、とても楽しいアイデアが飛び交いました。すると、キーワードは【夢】ではないかという意見が大勢を占めました。【子どもたちの夢(思い)】【教師の夢(願い)】【造形教育の夢(未来)】そんな夢いっぱいの研究大会にしたいと思っていますので、皆様、是非2年後には函館へいらして下さい!

さて、他地区同様、函館でも免許外の先生方に図工美術教育の大切さを知っていただくために、いろいろな工夫をしています。通常の研究授業の他、「美術授業にカメラ」の授業公開を行う際にはTT研究会にも参加を呼びかけ、図工美術以外の先生方にも参観してもらっています。また函館美術館のご協力をいただき、すべての特別展において鑑賞研修会を行っています。こちらも、美研会員以外の先生方も参加できるようにしています。その他、実技講習会や、毎年千名近くの来場者がある児童生徒美術展の実施などを通じて、子どもの思いを表出させることの大切さとその理解を広めていく活動を行っています。



児童生徒美術展



実技講習会の様子

# 小樽市教育研究会小学校図画工作部会活動紹介

小樽市立入船小学校 嶋影 哲弥

小樽市教育研究会小学校図画工作部会は、市の教育研究会の一部会で、その年間スケジュールにそって行われる年5回の活動の中で作品交流や部会員によるワークショップ、外部講師による実技講習会などを中心に活動を行っています。

実態としては、北海道造形連盟とは部会としてのつながりはなく、後志の窓口となっている私個人を通して、全道の状況などを部会員にお知らせしているという状況です。というわけで、北海道造形連盟への協力体制が十分に整っていないのが現状です。このような形で活動紹介をさせていただいているのも部会の中では十分に周知されていません。

ですが、会としての図工美術への取組は他の地区と同様がんばっているつもりです。特に実技講習会では、小樽市内の小学校の先生方に図工科を通して子どもたちの思いに向き合ってもらいたいという願いから、部会員だけではなく広く市内の小学校に案内をし、たくさんの先生方に参加を呼びかけています。内容も日々の授業の中で生かせるものを行い、参加された先生方には子どもたちへの何かしらのおみやげ(単純に作品をとということではないですよ)を持って帰っていただけるように工夫して行っています。

また、小樽市教育研究会からの委託事業として、小樽市小中図工美術展を中学校美術部会と共に市立美術館で開催しています。これは、賞目的の作品展ではなく、市民の皆さんに子どもたちの作品を見ていただくことで、そこに表現されている思いに触れていただくことがねらいです。毎年たくさんの方にご来場いただき、子どもたちの作品への賞賛や子どもたちへの激励の言葉をいただいています。私たちも指導者とは別な視点での作品へのご感想を聞くことができ、大変勉強になっています。

本会は限られた回数の中で、子どもたちに図工科を通して表現する喜びを感じてもらおうと、そして、そのために私たちに何が出来るのかを基本に活動を進めています。そこには自分たちも図工科を楽しんで指導していきながら知恵を出し合う先生方の姿があります。



# 第40回北海道教育美術展

## 作品募集のお知らせ

### 応募の対象

☆道内の保育園、幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児、児童、生徒

### 応募の規定

☆絵画や版画、デザイン画などの作品で学校（園）を窓口として応募する。

☆大きさは四つ切りとする。それ以下の作品は四つ切りの台紙に貼る。ただし中学校については八つ切りの作品でも受け付ける。

☆今年度内に作成された作品で一人1作品の出品とし、作品裏面に応募票を貼る。（応募票は剥がれ落ちないようにしっかりと固定してください。）

### ～作品規定～

- 積み重ねてもつぶれない、かさばらないこと
- 接着が頑丈で剥がれたり外れたりしないこと
- 画鋏展示ができる重量であること

問い合わせ 札幌市立中央小学校 八田博之  
TEL : 011-261-6568 FAX : 011-261-5723

### ◇審査研修会と一緒に参加しませんか？◇

12月26日（木）、27日（金）の二日間、札幌市立旭小学校で審査研修会が行われます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからもたくさんの先生方が審査研修会に参加されています。全道から集まった2万点近くの作品を見ることを通じて実践について研修し合う絶好の機会です。

### 締切・送付先

☆平成25年12月18日→締め切りを過ぎたものは受付できませんのでご注意ください。

☆〒062-0912 札幌市豊平区水車町3丁目1-22  
札幌市立旭小学校 北海道教育美術展係 宛

### 北海道教育美術展

会期：平成26年1月9日（木）～13日（月）

会場：道新ぎやらりー（札幌市中央区大通西3丁目）

- 主催：北海道造形教育連盟・北海道新聞社
- 後援：北海道教育委員会
- 協賛：サクラクレパス・RISO



## あ と が き

山の緑と、空一面のすっきりした青が素敵に和む季節となりました。これからが北海道の夏本番です。今年度の幕開けともなる136号を発行いたします。今年が今までの5カ年研究のまとめの年、また12月に行われている教育美術展も40回目と『節目の年』でもあります。『チーム北海道』としての意識がより高まる一年にしていきたいと思います。そのためにもぜひ石狩大会へ足をお運びください。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

最後に、連盟報発行にあたり、原稿執筆にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

<北海道造形教育連盟 広報部> 本多隼人・櫻田 悟・松本和彦